

瀬田唐橋感謝祭

勢多唐橋東西大綱引合戦までの経過

〔滋賀県では、昭和 54 年(1979)の架換えに際し、唐橋が往年の名橋であるため、歴史的文化財価値および景観を損なうことのないよう、昭和 49 年(1974)に橋梁工学や歴史、美術の学識経験者などで構成する「瀬田唐橋架換対策委員会」を設置して慎重な審議に基づき細部の設計がなされた。〕

(資料:大津土木事務所)

- 昭和49年(1974) 8月 「瀬田唐橋架換対策委員会」の助言により架け替え計画
- 昭和54年(1979) 7月 クリーム色の橋(鉄筋コンクリート造、高欄は鋼製)に架け替え
- 平成21年(2009) 11月 従来の色(クリーム色)で塗り替え工事を発表。

〔滋賀県が、その後 30 年を経過し橋桁や高欄等に塗装の劣化が著しい箇所が多くみられるようになった。このため、橋梁構造本体の長寿命化と歴史ある景観を保存するために塗替えを行う旨を発表〕

滋賀県が従来の色(クリーム色)で塗り替える旨を発表したことから、鷲尾遍隆氏(瀬田川流域観光協会会長・大本山石山寺座主)が滋賀県へ色の再考をするよう要請を行った。

〔理由〕

- 地元としては、かねてより従来のクリーム色に対し異論の声が多くある。
- 30 年前に橋の色を決めるに際し、地元不在で決定された経緯があり、今回の塗り替え工事に際して地元の意見を反映するべき。
- 木橋の時代は木地のままの色。
- 参考に石山寺所蔵の「石山寺縁起絵巻」第五巻(重要文化財)には朱色の唐橋が描かれております。
- 県立琵琶湖博物館にある瀬田唐橋は朱赤になっている。

◇ 平成21年(2009) 12月 「瀬田の唐橋と周辺景観推進協議会」設立

瀬田川流域観光協会が呼びかけ人となり、瀬田唐橋周辺(東西)の各種団体(個人含)で構成する「瀬田の唐橋と周辺景観推進協議会」が結成され瀬田唐橋について協議を行う、また瀬田唐橋の色に関してアンケート調査を実施。……………結果 朱色が多数(一方(木造に戻すも多数))

◇ 平成22年1月(2010) 1月 「瀬田の唐橋塗装換え意見交換会」開催

瀬田南学区自治連合会・瀬田橋本自治連絡協議会・瀬田南学区社会福祉協議会・瀬田町漁業協同組合等の代表が発起人となり「瀬田の唐橋塗装換えに伴う地元の意見交換会」が開催された。その後、数回にわたり意見交換会が開催された。……………結果 木肌色

「瀬田唐橋の東西で色論争！唐橋の色は何色」

報道機関が報道したことから全国的に瀬田唐橋が注目される。

○ 平成22年(2010) 6月 第1回「瀬田唐橋景観検討委員会」設立

行政、観光事業、都市景観等学識経験者と地元住民代表(瀬田の唐橋塗装換え意見交換会代表世話人 安土吉昌氏、瀬田の唐橋と周辺景観推進協議会 代表幹事 若山義和氏)がメンバーとして参加。

[その後、平成23年1月13日までに5回の検討委員会は開催された。]

◇ 平成22年(2010) 10月 「唐橋今昔写真展」開催

主催 瀬田の唐橋と周辺景観推進協議会
共催 瀬田川流域観光協会

◇ 平成22年(2010) 12月 唐橋欄干木造化基金コンサート「唐橋の夕べ」開催

主催 瀬田の唐橋と周辺景観推進協議会

○ 平成23年(2011) 2月 「瀬田唐橋の短期および中長期の整備方針について」

瀬田唐橋景観検討委員会から提言された。

○ 平成24年(2012) 3月 瀬田唐橋耐震工事完了

○ 平成24年(2012) 6月 瀬田唐橋塗り替え工事完了

◇ 平成24年(2012) 6月 「瀬田唐橋修復完成記念セレモニー」開催

主催 瀬田唐橋修復完成記念行事実行委員会(地元の各種団体)

○ 平成24年(2012) 8月 瀬田唐橋「橋名板」設置

○ 平成25年(2013) 3月 歩道照明対策工事完了

◇ 平成25年(2013) 4月18日 第1回『勢多唐橋東西大綱引合戦』準備委員会 開催

◇ 平成25年(2013) 4月24日 第2回『勢多唐橋東西大綱引合戦』準備委員会 開催

◇ 平成25年(2013) 5月29日 『勢多唐橋東西大綱引合戦』実行委員会設立総会 開催